

令和4年4月1日

木津川市議会議長 森本 隆 様

会 派 名 みのり会
代表者名 倉 克 伊

令和3年度政務活動費に係る収支報告について

木津川市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項の規定により、別紙のとおり令和3年度政務活動費収支報告書を提出します。

別紙

令和3年度政務活動費収支報告書

会派名 みのり会

1 収入

政務活動費 320,000 円

2 支出

(単位：円)

科 目	支 出 額	備 考
調 査 研 究 費		
研 修 ・ 会 議 費		
広 報 費	226,544 円	会派広報発行経費
広 聴 費		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
資 料 作 成 費	2,170 円	コピー代 (217 枚)
資 料 購 入 費		
事 務 費		
合 計	228,714 円	

3 残額

91,286 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

○支 出

(単位：円)

科 目	使 途 項 目	支 出 額	支 出 内 容
調査研究費			
	調査委託費		
	交 通 費		
	宿 泊 費		
	自動車借上料		
	使 用 料		
研修・会議費			
	会 場 費		
	機材借上費		
	講 師 謝 金		
	会 費		
	交 通 費		
	宿 泊 費		
	茶菓子代等		
広 報 費		226,544 円	
	印刷製本費	132,000 円	会派広報発行印刷代
	役 務 費	94,544 円	会派広報新聞折込代
広 聴 費			
	会 場 費		
	機材借上費		
要請・陳情活動費			
	印刷製本費		
	交 通 費		
	宿 泊 費		
資料作成費		2,170 円	
	印刷製本費	2,170 円	コピー代
	原 稿 料		
	委 託 料		
資料購入費			
	書籍購入代		
事 務 費			
	事務用品購入費		
	備品購入費		
	事務機器賃借料		
	通 信 費		
合 計		228,714 円	

項目別集計表

科目番号	科 目 名			
3	広報費			
年月日	内 容	支 払 額 (充当額)	備 考	整理番 号
令和3年 11月5日	会派広報発行印刷及び新聞折込代 (11月1日発行分)	151,030 円 (113,272 円)		3-1
令和4年 2月2日	会派広報発行印刷及び新聞折込代 (1月26日発行分)	151,030 円 (113,272 円)		3-2
合 計		302,060 円 (226,544 円)		

科目番号 1: 調査研究費 2: 研修・会議費 3: 広報費 4: 広聴費 5: 要請・陳情活動費
6: 資料作成費 7: 資料購入費 8: 事務費

領収書等貼付用紙

整理番号	3-1		
支出年度	令和3年度	支出年月日	令3年11月5日
科目 ※該当する項目一つに☑ して下さい。	<input type="checkbox"/> 1: 調査研究費 <input type="checkbox"/> 2: 研修・会議費 <input checked="" type="checkbox"/> 3: 広報費 <input type="checkbox"/> 4: 広聴費 <input type="checkbox"/> 5: 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 6: 資料作成費 <input type="checkbox"/> 7: 資料購入費 <input type="checkbox"/> 8: 事務費		
政務活動費金額	151,030円 (113,272円)		

【領収書等証拠書類貼付】

印刷部数 19,100枚
(新聞折込代)

$151,030円 \times 3/4 = 113,272円$

領 収 書

令和3年11月5日

みのり会 様

領収金額	百万	千	円
	1	5	030



但し

上記の金額領収いたしました。

西本印刷株式会社

代表取締役 西本 晴彦
〒619-0217 京都府木津川市木津町八ヶ坪4
TEL:0774(72)066 FAX:0774(72)1064

請求書

令和3年10月27日
下記のとおりご請求申し上げます

みのり会

様

請求書番号	品名	数量	単価	金額
-	みのり会お別り、1号	19100		800000-
-	折込	"	3	57300-
-				
-				

西本印刷株式会社

代表取締役 西本 晴彦

〒619-0217 京都府木津川市木津町八ヶ坪4
TEL:0774-72-0064 FAX:72-1064
振込先/南都銀行木津支店【当座】001162
京都銀行木津支店【普通】42583
口座名義人/西本印刷(株) 代表取締役 西本晴彦

消費税	13730-
合計	7151030-

領収書等貼付用紙

整理番号	3-2		
支出年度	令和3年度	支出年月日	令4年2月2日
科 目 ※該当する項目一つに☑ して下さい。	<input type="checkbox"/> 1 : 調査研究費 <input type="checkbox"/> 2 : 研修・会議費 <input checked="" type="checkbox"/> 3 : 広報費 <input type="checkbox"/> 4 : 広聴費 <input type="checkbox"/> 5 : 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 6 : 資料作成費 <input type="checkbox"/> 7 : 資料購入費 <input type="checkbox"/> 8 : 事務費		
政務活動費金額	151,030円. (113,272円)		
【領収書等証拠書類貼付】 印刷部数 19,100枚 (新聞折込代) $151,030円 \times 3/4 = 113,272円$			

請求書

令和4年1月21日

みのり会

様

下記のとおりご請求申し上げます

品目番号	品名	数量	単価	金額
-	会派お礼 2号	19100		800000-
-	1/26折込	"	3.-	57300-
-				
-				
-				

西本印刷株式会社

代表取締役 西本 晴彦

〒619-0217 京都府木津川市木津町八ヶ坪4
TEL.0774-72-0064・FAX.72-1064
振込先/南都銀行木津支店[当座]001162
京都銀行木津支店[普通]42583
(印鑑名義人/西本印刷㈱) 代表取締役 西本晴彦

消費税	13730-
合計	8151030-

※重ねないで裏面をのり付けしてください。

振込受付書

以下の内容で受付いたしました。

出金口座	リンゴ支店 代表口座円普通 2343756
ご依頼人名	ミノリカイ 南都銀行 木津支店
お受取人	当座 0001162 ニシモトインサツ (カブ) ダイヒョウトリシマリヤク ニシモ トノルヒコ
振込指定日	2022年2月2日
金額	151,030 円
振込手数料	0 円
合計出金金額	151,030 円
メモ	
受付日時	2022年2月2日 12:59
受付番号	2202000001
手続状況	手続済

- 受取人の入力内容に誤りがあると、振込が遅延したり振込先金融機関で入金ができずに資金が返却される場合があります。
- これは領収書ではありませんのでご注意ください。

住信SBIネット銀行

© SBI Sumishin Net Bank, Ltd.

ご挨拶

7月に新しく発足した、市議会会派「みのり会」です。私たちは、未来ある子どもたちに引き継いでもらえる施策を推進し、住みよいまちづくりを進めるため、新たに4人で結集しました。

木津川市は合併して15年が経ち、特別に上乘せされていた交付税が令和2年度が最終で、5年前より約6億円減額となりました。それを補うために財政調整基金や合併算定替の基金などで、年度当初の予算の差額を埋めながら急激な施策の変更がないよう緩やかにソフトランディングする予定です。

私たち「みのり会」は、これからも持続ある木津川市をめざし、活力あるまちづくりを進めていきたいと考えます。これからもご支援をよろしく願います。



山城浄水場（昭和49年に建設、老朽化が著しく5年後に更新）

研修報告 10月13日

命を守る水道事業

～山城浄水場を視察～

先月に発生した和歌山市の水道橋崩落事故を受け、本市の水道事業のあり方について、視察研修を行った。令和2年度に設置された水道事業管理者から水道ビジョンについて説明を受け、その後、山城浄水場を視察した。なお、和歌山市への支援として、3トンの給水車1台とサポートカー1台の体制で3日間にわたり給水活動を行ったとの報告があった。

【水道事業の現況】

○令和2年度決算からみる経営状況

検針業務の隔月実施へ変更などの経営改善計画を進める事にあわせ、給水人口の増加や、コロナ感染症対策（手洗いやうがい等により、一人当たり一日3Lの増加）で水需要が大きく増加したことで、経営状況が大きく好転した。



上下水道部（吐師受水場）

【水道事業の今後】

○今後の経営状況について

「木津川市水道ビジョン」に安全・強靱・持続可能な水道を目指す将来像を示している。令和14年の約8万人の人口をピークに減少傾向になる一方で施設や管渠の更新需要が増加するため、経営基盤の強化と更新が必要。

管路（全長530km）の更新事業は、財政面等を考慮し年間3kmとしている。水道施設の計画的な更新・事業の選択と集中、施設の統廃合、配水区域の見直しを進める。老朽化対策で、毎年、管の埋設替えをする。管の老朽化対策は、耐用年数の見直しを図ることにより進めていく。

○組織体制の再編・統合

上下水道事業は、共通する事務等が多い、組織の統合により、サービスの向上・効率的な経営等の期待ができる。市民ニーズを的確・迅速に対応できるように、令和5年度を目標に持続可能な組織体制を目指す。

○広域化の取り組み

施設の共同利用により、経費の削減が見込めるが、府水受水エリア外の取り扱いや、今後の水道料金など、利用者にメリットを示せるか、検討し判断していく。



みのり会の目

水道事業管理者を置くことで、組織の改革、経営基盤の強化が図られている。今後は、事務量も増加が見込まれ、上下水道事業管理者を置き、組織を一本化し、精通した者が責任を持ってスピーディーに推進できるようにする必要がある。ただし、上下水道を統合（組織の一元化）するには期間が必要。



倉 克伊

私は「太陽光発電設備の設置に関する国の法整備等を求める」旨の意見書を提出しました。

国はカーボンニュートラルの実現に向け再生可能エネルギーの導入を推進しています。これを受けて、太陽光発電設備をつくるために大規模な森林伐採が行われる事例が発生しています。しかし、森林は水源の



伊藤 紀味枝

**コロナ感染拡大
における対策は**

①子どもへの感染が急増する中、心のケアの対策は必須である。感染者への偏見やストレスは、いじめに繋がる恐れがあり、各年齢に応じた指導は。②子ども達は距離を置くことで、孤独感を感じてないか。③外出自粛で家庭内の虐待や育児放棄などの発見が見え

酒養や土砂災害の防止など、極めて生活に重要な多面的機能を有し、これらの問題を懸念する住民と事業者との間で、近年トラブルが発生しています。さらに太陽光事業は長期間に及ぶため、設備の適切な管理や、大量の使用済み太陽光設備の発生時の適切な撤去やその後の森林の再生等の問題解決が必要で、事業終了後や倒産などによる環境汚染や景観破壊が懸念されています。

私は、国が都道府県や末端の地方自治体に責任を委ねるのではなく、一定規模以上の開発については、国の責任において基本的な法整備を行ってもらうよう、市議会全員賛同を経て、国に提出をしました。

脱炭素社会の構築に向け、再生可能エネルギーの拡大は避けて通れない課題です。

一方で森林減少に伴う温室効果ガス排出量は世界全体で約2割ともいわれています。

私たち人間は、自然と共存の道を模索しながら、脱炭素社会を考えることも必要と思います。

の活用を始めている。コロナ感染症で自宅待機等の児童生徒に対して授業の配信で学習保障している。

学校・園の教職員等のワクチン接種率は。

8月中旬で、全体で60%。各自の住所地にて集団接種等を受けている者もあり、割合はこれより高い。

12歳から15歳の接種が始まる。接種するメリットとデメリットをしっかりとアウンスすべきと思うが、今後の指導方針は。

保護者に通知文を接種券の発送前に案内通知。自身や家族の感染を防ぐ両面からも検討していただく。

令和7年度完成予定
木津川台駅前歩道橋
の着実な整備を

歩道橋は、本市の西側の玄関口としてモニユメント的な大型構造物となる。将来的な維持管理等に活用する目的として、ネーミンググライトの導入により自主財源確保の考えはどうか。

全長132m、エレベーターも設置予定のため、これらの保守点検等の管理を禁じ得ません。

みなさんは、家庭の使い捨てプラスチックゴミが減ったという実感を持ってもらえるのでしょうか。

大阪湾の海底に沈むレジ袋は約300万枚、世界の海洋ゴミの大部分がレジ袋との調査結果があります。

生物への深刻な影響はもちろん、漁業など地域の産業にも大変な被害が及んでいます。

木津川市でもゴミ調査とその対策を考える活動の継続が必要だと思えます。

これからも使い捨てプラスチックゴミゼロに取り組みで参ります。

質問内容の詳細につきましては「議会だより」などをご覧頂ければ幸いです。

推計数と、誰一人取り残さない社会を実現するための支援は。

内閣府が実施した調査を基に、現在の本市の状況にあてはめた場合、15歳から64歳で651人と推計される。相談体制は、総合的な相談窓口の一元化は行わず、各課で相談を受け付け、連携体制を生かした「断らない相談支援」体制とする。

地域共生社会の実現に向けて地域福祉計画を推進する。市民ニーズを踏まえた上で、現在6億円ほど積み立てている地域福祉基金の活用を検討する。

ひきこもりの現状と
具体的支援の推進を

本市のひきこもりの方

第3回定例会の一般質問

- ① 災害時における、要援護者支援制度の継続的な支援は。
- ② 高齢者世帯への取組みは。
- ③ 通学路・いじめ・虐待など、子ども達を守る取組みは。

新型コロナウイルスの終わりが見えない中、医学の進歩を確信していても、ウイルスとの闘いは容易ではありません。私たち「みのり会」も思うように活動を進められないことも多くあります。しかし「見守る・待つ・寄り添う・受け容れる・耳を傾ける」ことに徹して、過去の成功事例にとらわれ過ぎず、自己改革と組織の改革も一歩ずつ進めながら、常により善くを目指し、木津川市が実りの秋となりますように発信を続けていきますので、これからもよろしくお願いたします。(長岡一夫)



皆様のご意見をお聞かせください

【連絡先】

倉 克伊	TEL(0774)86-2835	FAX(0774)86-4235
長岡 一夫	TEL(0774)72-4706	FAX(0774)79-0003
伊藤 紀味枝	TEL(090)9704-5325	kimie.ito2@gmail.com
谷口 雄一	TEL(090)6978-4084	ksp_yuichi@yahoo.co.jp

研修報告 1月12日

老朽化が進む小中学校プール

今後の方針を議論

市内の多くの小中学校のプールは、築年数が相当経過し、今後、更新や改修費用に多額の支出が見込まれることから教育委員会と意見交換後、4校のプールを現地視察した。

なお市内17校の小中学校では新型コロナウイルス感染症拡大のため、プールの使用を休止している。

【施設の現状】

長寿命化計画策定時における劣化調査において、プール本体に亀裂・損傷や水漏れの疑いがあったり、外観については、クラックやフェンスの腐食が見られたり更衣室の天井の雨漏り等、多くのプールで修理等の改善すべき点があった。また、ポンプや濾過装置等、設備機器の改修の必要性も見受けられた。

市では、これらの状況を踏まえ、計画的に改修を進めていく予定である。

【プールの維持管理費】

2年度は水泳授業が中止となったことから、元年度決算額で、薬品費・保守点検委託料、光熱水費等で年間約900万円であった。

学校外プールの活用として、山城中学校では、隣接する「やすらぎタウン山城プール」を利用しており、



教育委員会とプールのあり方について意見交換



年間30万円。上狛小学校も4年度から同プールを利用する予定。

城山台小学校では、民間施設の「コパン高の原」を利用し、年間500人(2・3年生)を10回の利用予定で、水泳指導・施設バスによる送迎を含めて、385万円の予算。

【今後の検討】

長寿命化計画にプール・グラウンドおよび小規模な建物等は対象となっていないことから、今後の維持・更新コストは別途算出していくと考える。

学校単位で、ひとつのプールが必要か、また、長期的にみて拠点プールを設け複数校で利用するなど、民間施設も含めて多面的に検討していく必要がある。



みのり会の目

長期的に小中学校プールの改修には多額の費用が必要になる。年間利用回数の観点から複数校の利用が望ましく、例えば中学校区単位の拠点校での利活用についての検討や、市民も利用できるプールも選択肢の一つと考える。



伊藤紀味枝

ポストコロナに
向けた支援対策は

① コロナ禍による自粛や活動制限等で、家に引きこもり状態となったことにより、認知症が発症したり、病状の進行が危惧される。② 高齢者の心身の状態を、どのように把握しているのか。③ 高齢者世帯が孤立しないようにサポートは。④ 健康長寿の秘訣は「通いの



長岡一夫

子育て家庭への支援

コロナ禍は私たちの生活に様々な変化を及ぼしていますが、その中で生活弱者への関心が高まりました。経済的な格差は、コロナ禍以前から拡大する傾向にありましたが、コロナ禍によって、より見えやすくなりました。

相対的貧困率は13・5%、7人に1人の割合となっております。

場」からと言われる。取り組みは。

① 相談支援や、地域への啓発活動を実施。社会福祉協議会を中心に見守り活動や支え合い活動等で状態把握する。② 地域包括センター設置し、総合的な支援を行う、社会福祉協議会・民生・児童委員等連携し支援合う。③ 生きがい対応型デイサービス事業・元氣アップ体操教室等実施。

うつ病や自殺の増加が問題となっている。実態は。近年5〜6年は10人前後で推移。ゲートキーパーの養成研修を実施。

小中学生の小さな変化

や、SOSをキャッチする対応が必要では。不登校の実態は。

多角的に情報収集し、把握に努めている。小学校で49人、中学校で、89人。関係機関と連携している。

引きこもりが増加傾向である。実態は。

市や府への相談件数の増加は見られない。相談窓口の周知や関係機関と連携している。

失業者も増加傾向にある。支援対策は。

ダブルワークや転職に関する相談は増加だが、関係機関と連携し、就労支援を実施。

してのものでした。一方、児童手当は第一子・第二子は月額1万円、第三子以降は同1万5000円を生まれてから15歳まで受け取ることができる制度であるものの、所得制限があり、収入の多い家庭は全額受給できない仕組みになっている。

収入状況によらず、子どもを産み育てること。そのものに對して社会全体で支援していくことが必要であり、国・府・市が連携して必要な支援の取組みを提案していきたいと思えます。

2019年10月1日より3歳から5歳までの幼稚園・認可保育所・認定こども園などの利用料が無償化されました(幼保無償化)。

これは所得制限なく対象の年齢の子がいる全世帯に對



谷口雄一

コロナ禍における
放課後児童クラブは

緊急事態宣言による臨時休校時の児童クラブ臨時開所は、画期的な対応であったと考える。成果は。

指導員のシフト変更と幼小の教職員や保育士で応援体制を組み、臨時開所の体制を整えた。また、校内に臨時児童クラブを開設し、未登録の児童も特例的に受入れた。感染症対策として

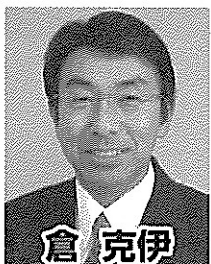
可能な範囲で利用自粛を呼びかけ、感染症対策物品の速やかな支給に努めた。

今後、臨時休業となった場合でも感染症対策を講じながら開所体制を整えられと考えている。

指導員の採用状況と定着率は。また、新規採用者については十分な研修が追いつかず、そのまま現場配置せざるを得ない状況があると聞くが、どうか。

年度により採用人数は異なるが、主任指導員の採用3年後の平均定着率は約80%である。

指導員のさらなる資質向上は必要であり、それぞれ



伊藤克

城陽井手木津川線を
中心にまちづくりを

木津川右岸にできる城陽井手木津川線(国道24号バイパス)を中心とした今後のまちづくりの考えを質問した。

バイパス事業が進められているが、進捗状況と地元説明はいつ頃になるのか。

この道路は、災害時の代替道路として「住民の命を守る重要な役割の道路」と強く位置づけている。また、交通

渋滞緩和や地域経済の活性化など大きな効果を期待。綺田地区より測量、6年度に地籍測量を完了予定。その後、道路測量に入り図面作成の時期に地元説明を考えている。事業で下流域に影響がでる池や水路等については、関係団体などと連携し、必要な協議を進めていく。

開き橋から棚倉駅周辺を通しバイパスに接続の府道枚方山城線の計画。

バイパスと共に重要なネットワーク道路の役割を果たすことから、京都府に早期事業化を要望している。

に研修を実施するとともに、経験を積んだベテラン指導員には、児童クラブ間の異動により、体制の強化を図っている。

※本市は共働き家庭の増加もあり、児童クラブは、社会的必要性が極めて高い事業と考えます。行政と現場の指導員が連携し、その職場環境や処遇の改善を推進することで、子どもたちにとって、より健全な育成に寄与できる体制となるよう要望していきます。

(R3年5月1日 時点の在籍児童数 1349人)

画は。●地産地消や人々のつ

どいのための国道163号交

差点付近の拠点施設整備は。

「第2次都市計画マスタープラン」で位置付け、棚倉駅周辺は枚方山城線の延伸構

想と併せて土地利用を考えていく。

田護池の周辺整備は、市民の憩いの場など整備検討。

163号交差点付近は、地産地消や人々が利用できる賑わい施設として検討。

※今回、私の提案で議員全員の賛同を得て、市長に対し太陽光発電設備設置に対する決議文を可決しました。

(次回の議会報3ページに掲載)

皆様のご意見をお聞かせください

- 【連絡先】 倉 克伊 TEL(0774)86-2835 FAX(0774)86-4235 長岡 一夫 TEL(0774)72-4706 FAX(0774)79-0003 伊藤紀味枝 TEL(090)9704-5325 kimie.ito2@gmail.com 谷口 雄一 TEL(090)6978-4084 ksp_yuichi@yahoo.co.jp

本市は3月に合併15周年を迎えます。先人の築かれた礎に敬意を表した上で、今こそ一体的なまちづくりをより一層進め、将来につながる成熟した木津川市となるよう、議会においてイニシアチブを発揮して行動してまいります。

未だコロナ感染の収束は見通せませんが、皆さまにとって素晴らしい一年となりますよう祈念いたします。(谷口 雄一)



項 目 別 集 計 表

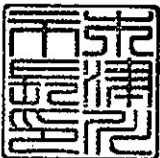

科目番号	科 目 名			
6	資料作成費			
年月日	内 容	支 払 額 (充当額)	備 考	整理番 号
令和4年 3月22日	コピー代として	2,170 円		6-1
合 計		2,170 円		

科目番号 1: 調査研究費 2: 研修・会議費 3: 広報費 4: 広聴費 5: 要請・陳情活動費
6: 資料作成費 7: 資料購入費 8: 事務費

領収書等貼付用紙

整理番号	6-1		
支出年度	令和3年度	支出年月日	令和4年3月22日
科目 ※該当する項目一つに☑して下さい。	<input type="checkbox"/> 1: 調査研究費 <input type="checkbox"/> 2: 研修・会議費 <input type="checkbox"/> 3: 広報費 <input type="checkbox"/> 4: 広聴費 <input type="checkbox"/> 5: 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 6: 資料作成費 <input type="checkbox"/> 7: 資料購入費 <input type="checkbox"/> 8: 事務費		
政務活動費金額	2,170円		

【領収書等証拠書類貼付】

No. _____				納入通知書兼領収証書			
納入者		みのり会				様	
令和		年度		会計			
科 目 細 節	款	諸収入 ()		項	雑入 ()		
	目	雑入 ()		節	雑入 ()		
	細節	雑入 ()					
金額				¥ 2 1 7 0			
納入の内容		了比一代みのり会					
納入期限							
本市収納金融機関へ納入してください。							
令和 年 月 日							
木津川市長 河井規子						領収日付印 	
上記のとおり領収しました。							
【納入者保管】							

※重ねないで裏面をのり...